

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数3,130件(前月比 0.1、前年同月比 0.3)と2月に入って激減しました。しかし1月の流行はこの10年間で最も大きな流行でした。今後減少に向かうと思われませんが、まだ(24.4~57.6)と警報レベルが続いています。

小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向) 報告数6,305件(前月比0.2、前年同月比 0.5)で、1月の報告数から激減しました。前年比も0.5と感染症発生数が例年になく少ない月でした。インフルエンザの減少が主な原因です。その他の疾患も減少していますが、伝染性紅斑・手足口病・A群溶連菌咽頭炎が僅かに増加しています。伝染性紅斑は報告数は15例と少ないですが、前年比(3.8)と増加していますので今後の動向に注意が必要です。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告数194件(前月比 0.7、前年同月比 1.6)で、昨年10月をピークに次第に減少しています。例年同様の傾向です。菊池(12.8)からの報告が多いようです。
2. 咽頭結膜熱: 報告数68件(前月比 0.7、前年同月比 0.5)で、減少傾向を示しています。昨年6月より少ない報告数が続いています。1歳代をピークに乳幼児中心に報告が見られます。菊池(7.8)からの報告が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎: 報告数349件(前月比 1.1、前年同月比 0.8)で、1月よりわずかに増加していますが、例年より少ない傾向です。菊池(14.0)、人吉(12.3)からの報告が多いです。
4. 感染性胃腸炎: 報告数1,917件(前月比 0.8、前年同月比 0.9)で、毎月報告数が一番多い疾患ですが、1月2月はインフルエンザが上回りました。例年同様12月から減少傾向ですが、山鹿(102.0)、菊池(82.0)からの報告が多いです。乳幼児の報告が多いですが、全年齢層から報告されています。
5. 水痘: 報告数106件(前月比 0.6、前年同月比 0.4)で昨年12月より減少傾向が続いています。この3年間減少傾向が続いていますが、昨年10月より水痘ワクチンが定期接種となり、今後も減少していくと思われれます。
6. 手足口病: 報告数163件(前月比 1.1、前年同月比0.8)で、前月よりわずかに増加していますが、一昨年8月より少ない報告が続いています。昨年1年を通じ、夏季わずかに増加しましたが大きな変動なく少ないままで推移しています。1~2歳代の報告が多いです。
7. 伝染性紅斑: 報告数15件(前月比1.9、前年同月比3.8)で一昨年から引き続き少数で推移していますが、今月は増加に転じこの1年間では最も多い報告でした。
8. 突発性発疹症: 報告数131件(前月比0.9、前年同月比1.3)で、例年通りの推移でした。
9. 百日咳: 報告数1件(前月比 -, 前年同月比 0.3)で、報告された1例は1歳代、八代からの報告です。

10. ヘルパンギーナ: 報告数14件(前月比 0. 6、前年同月比 0. 5)で、この1年で最も少ない報告でした。例年冬期は少なく、4月ころから増加してくる傾向です。
11. 流行性耳下腺炎: 報告数62件(前月比 0. 7、前年同月比 10. 3)で、昨年9月より増加を続けていましたが、今月は減少に転じました。しかし例年以上の報告が続いています。人吉(17. 3)からの報告が多いです。5～6歳の報告が多いです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数21件(前月比 0. 8、前年同月比 0. 2)と減少しています。年齢別でも全年齢層に少数の散発が見られる程度です。地域別では熊本19件、菊池・八代各1件の報告です。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 42件(前月比 0. 7、前年比 0. 9)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性12件、女性30件で、女性に多く見られます。年齢は、男性、15～54歳に見られ、女性も15～54歳に見られますが、15～34歳に多く見られます。地域別は、熊本が25件、次いで八代10件、御船3件、菊池、人吉、有明、宇城各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 10件(前月比 0. 6、前年比0. 6)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性3件、女性7件でした。年齢は、男性は20～70歳以上に見られ、女性は25～59歳に見られます。地域別は、熊本が6件、次いで菊池、八代各2件でした。
3. 尖圭コンジローマ : 報告数 7件(前月比 3. 5、前年比1. 4)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性1件、女性6件でした。年齢は、男性は25～29歳のみで、女性は20～44歳に見られます。地域別は、熊本5件、次いで有明、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数23件(前月比1. 2、前年比1. 5)で前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性21件、女性2件でした。年齢は、男性は15～64歳と幅広くに見られ、女性は15～19歳にみられます。地域別は、熊本20件、次いで菊池2件、八代1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:
32件(前月比1. 7、前年比1. 5)の報告がありました。
熊本19件、山鹿4件、阿蘇1件、八代4件、水俣1件、人吉1件、有明2件でした。
年齢は0歳: 4件、1～4歳: 1件、15～19歳: 1件、40～44歳: 1件、45～49歳: 1件、55～59歳: 1件、60～64歳: 1件、65～69歳: 2件、70歳以上: 20件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:
8件(前月比1. 1、前年比2. 7)の報告がありました。

熊本5件、有明3件でした。

年齢は1～4歳:2件、55～59歳:1件、60～64歳:1件、70歳以上:4件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:

報告ありませんでした。(前月比 - 、前年比 -)

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 報告ありませんでした。(前月比 - 、前年比 -)

2. 無菌性髄膜炎: 1件(前月比0. 2、前年比 1. 0)の報告がありました。
人吉1件で、年齢は30～34歳:1件でした。

3. マイコプラズマ肺炎:2件(前月比0. 2、前年比1. 0)の報告がありました。
阿蘇1件、天草1件でした。年齢は1～4歳:1件、70歳以上:1件でした。

4. クラミジア肺炎: 報告ありませんでした。(前月比 - 、前年比 -)

5. 感染性胃腸炎: 9件(前月比9. 0、前年比0. 6)の報告がありました。
(ロタウイルス) 熊本7件、人吉2件で、年齢は0歳:2件、1～4歳:4件、5～9歳:2件、40～44歳:1件でした。

届け出対象感染症

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核:39件
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症:1件
- 4類感染症: レジオネラ症:1件
- 5類感染症: アメーバ赤痢:2件
カルバペネム耐性腸内細菌感染症:1件
クロイツフェルト・ヤコブ病:1件
後天性免疫不全症候群:1件
侵襲性肺炎球菌感染症:1件